

安全データシート

作成日 2007年 4月11日

改訂日 2017年 3月24日

1. 製品及び会社情報

製 品 名	OSラスコート
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M4003

2. 危険有害性の要約

GHS分類

火 薬 類:	分類できない
可燃性/引火性ガス:	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール:	分類対象外
支燃性/酸化性ガス:	分類対象外
高 圧 ガ ス:	分類対象外
引 火 性 液 体:	分類できない
可 燃 性 固 体:	分類対象外
自己反応性化学品:	分類できない
自然発火性液体:	分類できない
自然発火性固体:	分類対象外
自己発熱性化学品:	分類できない
水反応可燃性化学品:	分類できない
酸化性液体:	分類できない
酸化性固体:	分類対象外
有機過酸化物:	分類できない
金属腐食性物質:	分類できない
急性毒性	
経 口:	区分外
経 皮:	区分外
吸 入 (気 体):	分類対象外
吸 入 (蒸 気):	区分外
吸入(粉塵/ミスト):	区分外
皮膚腐食性/刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性:	区分2
感作性	
呼 吸 器:	区分外
皮 膚:	区分外
生殖細胞変異原性:	区分外
発 がん 性:	分類できない
生 殖 毒 性:	区分外
特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴露):	分類できない
特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴露):	分類できない
吸引性呼吸器有害性:	分類できない
水生環境	
急 性 有 毒 性:	分類できない
慢 性 有 毒 性:	分類できない
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル表示



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 強い眼刺激

注意書き: <安全対策>

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

<応急措置>

眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	含有量(%)	CASNO.	安衛法	化審法	安衛法第57条の2
塩化ビニリデン共重合体	35~45	非公開	既存物質扱い	非公開	—
プロピレングリコールモノメチルエーテル	10~20	107-98-2, 1320-67-8	既存物質扱い	(2)-404, (7)-97	496
有機化合物	1~10	非公開	非公開	非公開	—
水	35~45	7732-18-5	—	対象外	—

4.応急措置

眼に入った場合: 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。その後、眼科医の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。石鹼を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。

吸入した場合: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、医師の診断を受けること。呼吸が弱い場合は人口呼吸を行なう。

飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗浄する。安静にし、直ちに医師の診断を受ける。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤: 霧状の水、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂

消火方法: 適切な保護具(呼吸用保護具、耐熱性着衣など)を着用する。

初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。

規模火災の場合は泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火作業は風上から行う。

関係者以外は安全な場所に退避させる。

消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

特有の危険有害性: 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/

保護具及び緊急時措置: 作業の際には適切な保護具(手袋・眼鏡・保護マスク等)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項: 河川等へ排出しないように、環境への影響を十分に配慮する。

付着物・廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

封じ込め及び浄化の

方法・機材: 少量の場合、乾燥砂・土・ウエス等に吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。大量の水で洗い流す。

多量の場合、盛り土で囲って流失を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策: 周囲を関係者以外立ち入り禁止にして、二次災害を防止する。
床に濡れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意: 取扱いは、換気の良い場所で行う。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように保護具を着用する。
出来るだけ風上から作業を行う。
容器を開ける前に内圧を除き、漏れ、あふれ、飛散がないように注意深く取扱う。
取扱い後は、手、顔等をよく洗うがいをする。
- 保管上の注意: 直射日光を避け、通風の良い、乾燥した屋内冷暗所に密閉し保管する。
酸化剤との接触を避ける。
温度が5℃～35℃以外になる所には置かないこと。
- 安全な容器包装材料: ポリエチレン内袋入り容器(缶、ドラムなど)

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策: 取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器を使用する。
蒸気、ヒュームまたはミストが発生する場合は、局所排気、全体換気装置を用いて作業環境を良くする。
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

管理濃度及び許容濃度: ACGIH(米国)

化学名又は一般名	TWA(時間加重平均)	STEL(短時間暴露限界)	STEL_C(天井値)
プロピレングリコールモノメチルエーテル	100ppm	150ppm	—

保護具

- 眼の保護具: 保護眼鏡を着用する。ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。
- 呼吸器の保護具: 防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具: 保護衣(長袖の静電気防止作業服)を着用する。
有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- その他の保護具: 保護靴、保護前掛け

9.物理的及び化学的性質

- 形 状: 液体
- 色: 乳白色
- 臭 い: 僅かなエーテル臭
- p H: 1.5～4
- 融 点 / 凝 固 点: データなし
- 沸 点 と 沸 騰 範 囲: データなし
- 初 留 点: データなし
- 引 火 点: 測定されない。
- 自然発火温(発火点): データなし
- 燃 焼 性(個 体、ガ ス): データなし
- 燃 焼 又 は 爆 発 範 囲 の
上 限 / 下 限: データなし
- 蒸 気 圧: データなし
- 蒸 気 密 度: データなし
- 蒸 発 速 度: データなし
- 比 重(相 対 密 度): 1.25
- 溶解性
- 水に対する溶解度: データなし
- 水に対する溶解性: 容易

溶媒に対する溶解度： データなし
 溶媒に対する溶解性： アルコール等の有機溶剤に溶ける。
 分解温度： データなし
 n-オクタノール/水分分配係数： データなし

10.安定性及び反応性

安定性： 通常の使用条件で安定。
 危険有害反応可能性： 自己反応性なし。
 避けるべき条件： 継続的な高温状態(50℃以上)、低温(5℃以下)での長期保管
 危険有害な分解生成物： データなし

11.有害性情報

急性毒性： 情報は得られていない。
 皮膚腐食性/刺激性： 情報は得られていない。
 眼に対する重篤な損傷性/
 刺激性： プロピレングリコール 区分2B
 モノメチルエーテル
 呼吸器感作性： 情報は得られていない。
 皮膚感作性： 情報は得られていない。
 生殖細胞変異原性： 情報は得られていない。
 発がん性： 情報は得られていない。
 生殖毒性： 情報は得られていない。
 特定標的臓器/
 全身毒性(単回暴露)： 情報は得られていない。
 特定標的臓器/
 全身毒性(反復暴露)： 情報は得られていない。
 吸引性呼吸器有害性： 情報は得られていない。

12.環境影響情報

生態毒性： 情報は得られていない。
 残留性/分解性： 情報は得られていない。
 生体蓄積性： 情報は得られていない。
 土壌中の移動性： 情報は得られていない。
 他の有害影響： 情報は得られていない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
 汚染容器： 内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策
 及び条件： 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 積み重ねは3m以下とし、容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下等がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国際規制

国連分類: 分類基準に該当しない。

海洋汚染物質: 該当しない。

15.適用法令

消 防 法: 非危険物

労働安全衛生法: エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準: 該当しない

海洋汚染物質: 未査定物質

外国為替及び

外国貿易管理法: 輸出貿易管理令 キャチオール規制: 該当する

16.その他情報

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。
